



第36回 教育懇談会



大学と後援会が実施している教育懇談会は、今年で36回を迎えました。

今年度は大阪（本学）、高松・岡山会場で開催され、合計461名の保護者の皆様にご参加いただきました。

6月25日（土）の大阪会場では、本学マスコットキャラクター「はてにゃん。」と吹奏楽総部によるオープニング演奏の後、山本学長による本学の教育に関する講演に始まり、学生の体験談、参加者の関心が高い就職シンポジウムが行われたほか、成績・就職・留学・学生生活における各種個人面談、学生広報隊による施設見学など、様々なプログラムが行われました。地方会場でも、全体懇談や成績・就職の個人懇談が実施されました。

本誌では、各会場の参加状況のほか、地方会場での学生就職体験談についてご紹介します。

教育懇談会参加人数			
開催日	会 場		参加者数
6月24日（土）	大阪	大阪経済大学	390
7月8日（土）	高松	リーガホテルゼスト高松	27
7月9日（土）	岡山	岡山プラザホテル	44
合 計			461

今年も多くの保護者の皆様にご来場いただき、教職員一同、心より御礼申し上げます。こちらの不手際でご迷惑をおかけした部分もございましたが、いただいたご意見をもとに来年度以降改善していく所存でございます。また、これからも大阪経済大学はより一層教育の発展・充実に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い致します。

大阪会場の様子



学長懇談

午前の講演では、山本俊一郎学長が「生き続ける学びが創発する場となるために」をテーマに、コロナ禍での学生支援やこれからの時代に必要となる教育を説かれました。本学のミッションに基づいて、学部カリキュラムの見直しや定員増、「国際共創学部」の設置等100周年に向けた取り組みのお話がありました。



就職シンポジウム

午後の就職シンポジウムでは、望月進路支援部長が最近の就職状況と本学の就職支援について講演しました。その中で、個別面談、ゼミ別ガイダンス、業界セミナーなど、進路支援部が実施している支援活動を紹介しました。また、保護者の方々からも熱心な質問が寄せられ、会場は盛況な雰囲気に包まれました。



オープニング演奏



点出し



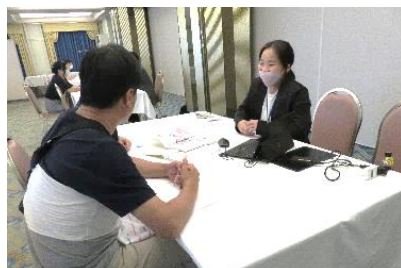
くすのきエール・マルシェ



施設見学

今年度からは、コロナ禍で中止になっていた茶道部の点出しも再開されました。また、浅田ゼミの福祉事業所との連携プロジェクト「くすのきエール・マルシェ」では、福祉事業所の方々が手作りしたお菓子や小物が販売されて、多くの参加者で大変賑わいました。

地方会場(高松・岡山)の様子



7月8日（土）9日（日）高松会場（リーガホテルゼスト高松）、岡山会場（岡山プラザホテル）では、学長懇談、学生の就職活動体験談、成績・就職に関する個人懇談を実施しました。成績懇談では、成績通知書をもとに、授業の出席状況や成績、単位修得状況について担当者が個別に説明し、今後の学生本人における取り組み姿勢等についてご相談に応じました。就職懇談では、コロナ禍における就職状況をはじめ、就職活動全体のスケジュール、本学の進路支援体制及びご家庭における学生サポートについて個別にお話しました。

学生体験談発表者の声

【大阪】クラブ体験談



人間科学部3年 岩橋健太さん

今回の懇談会で私が伝えたことは、「大学生だけができる有意義な時間の過ごし方」についてです。その中で体育会クラブの良さを交えながらお話させていただきました。私が一番伝えなかったことはマインドの部分で、「自分の人生は自分が決める」ということです。体育会系だから学べるというものではなく、誰もが平等に成長できます。課外活動・就活・バイトなど、そこでしかできない経験があります。せっかく経験するなら自分で最高の経験を作りたくないですか？そのためには自分で目標を決め実行する。それが将来の自分の財産へ変わります。この財産はやろうとした者にしか得られません。しかし、誰でも得ることが可能です。大阪経済大学には行動する人をサポートしてくれる環境と人で満ちています。そこに気づければ大成長できるのです。学生には大学の良さを知り、豊かな学生生活を送ってほしいと思っています。

最後に私を採用して下さった職員はじめ、スタッフの方々の良い準備・運営を進めて下さり、また聴者の方々も温かく受け入れて下さったことで、気持ちよくスピーチを行うことが出来ました。大変感謝しております。ありがとうございました。

【大阪】留学体験談



人間科学部3年 植田結衣さん

私はカナダに2023年の2月から約1ヶ月間、語学研修という形で滞在していました。この体験を教育相談会の留学体験談として保護者の皆様にパワーポイントを用いながら紹介させて頂きました。発表内容としては大きく、本学の語学研修プログラムと現地での過ごし方について発表させて頂きました。自分の子どもにもこの様な経験をさせてあげたい”と思ってもらえる様、語学研修の楽しさが伝わる発表にすることを1番に心掛けました。

発表するにあたりカナダでの日々を改めて思い出す良い機会となりました。語学研修は約1ヶ月の経験でしたが、私にとって人生で一番刺激的で濃密な楽しい瞬間でした。そのすべてを3分間の発表で伝えることは当然難しく、時間内に発表を終わらせることに一番苦労しました。それ程素敵な思い出でいっぱいです。当日もお話させて頂いた様に、私は語学研修で積極的に行動する力が身につきました。帰国後も自主的に英会話の授業を受講したり、本学にインターンシップとして通っていた留学生のサポートを行ったりと自分ができることは積極的に取り組んできました。そしてこの留学体験談もその内の一つです。これからもこのチャレンジ精神を大事にして、自分の可能性を広げていきたいと思っています。そしてまた留学に行ける様に継続して英語の勉強も頑張っていきます。

【高松】就職活動体験談



経営学部4年 山田恭愛さん

高松会場において就活体験を発表させて頂きました。私が、就活において一番大切だと感じたことは、大学の就職活動のイベントやサポートを積極的に受けに行くことです。私自身、徳島県という地方出身なのもあり、就活情報を集めることに大変苦労していました。しかし、大学内で定期的に開催されるイベントに積極的に参加することや、就職課の方々の話を聴くこと、大樟塾に入塾し面接やマインドのご指導を受け面接慣れすることで、自分らしさを出すことができる、会話ベースの面接をすることができました。このように一人で抱え込むのではなく、多くの人を頼ることで就活を乗り越えました。

また、就活を共に頑張る仲間を作ることで面接練習やエントリーシートの確認をすることが勿論、新しく関心を持つ企業も見つけることができ視野が広がりました。このような機会を頂き、改めて大学の手厚いサポートのありがたさを実感しました。今回の発表を通してまだまだ人前で話すことになれてなく、わかりやすい説明や言葉選びで発表できるようになりたいと痛感しました。私が第一志望の企業から内定を頂けたのは、決して自分の力のみならず、多くの方々の温かいサポートあってのことだと考えています。残された期間、エンジョイすることは勿論ですが、常に周囲の方々への感謝を忘れず社会人に向けてさらなるスキルアップに繋げる充実した学生生活を送ります。